

建築都市コース(都市システム)アニュアルレポート(2010和文)

1) スタッフ紹介 【都市システム科学域】〈都市空間システム〉

中 林 一 樹(なかばやし いつき) 教授/工学博士

都市計画, 都市防災論, 都市復興論, まちづくり論

9 - 553室 TEL:042-677-1111 内線4272 nakabasi@tmu.ac.jp

玉川 英則(たまがわ ひでのり) 教授/工学博士

都市・地域解析, 都市・地域計画

9 - 556室 TEL:042-677-1111 内線4275 htama@tmu.ac.jp

伊藤 史子(いとう ふみこ) 准教授/博士(工学)

都市計画, 都市解析, 住環境分析, プロジェクトの経済分析

9 - 558室 TEL:042-677-1111 内線4273 itofumi@tmu.ac.jp

市古 太郎(いちこ たろう)助教/博士(都市科学)

都市防災計画, 事前復興まちづくり, 災害リスク管理

9-152 室,(042)677 1111 内線 4231 ichiko-taro@tmu.ac.jp

吉川 仁(よしかわ じん) 特任教授/工学修士

防災都市計画学、防災計画史

9-156室 042-677-1111(内) jinyoshi@arion.ocn.ne.jp

〈都市社会システム〉

星 旦二(ほし たんじ) 教授/医学博士

公衆衛生学, 都市健康科学 9-565 室

TEL024-677-1111 内線4278 star@onyx.dti.ne.jp

羽貝 正美(はがい まさみ) 教授 / 法学修士

都市行政、都市政策、地方自治、ローカル・ガバナンス

9-560 室 042-677-1111 内線 4163 mhagai@comp.metro-u.ac.jp

竹宮 健司(たけみや けんじ) 准教授/博士(工学)

建築計画, 環境行動研究

9-874室, 042-677-1111内線4785 takemiya-kenji@tmu.ac.jp

饗庭 伸(あいば しん) 准教授/博士(工学)

都市計画, まちづくり, 都市計画制度

9 - 566室 TEL:042-677-2359 aib@tmu.ac.jp

山本薫子(やまもと かほるこ) 准教授/博士(社会学)

都市社会学, 地域社会学, コミュニティ論, 移民研究

9-154 室, TEL:042-677-1111内線 4233 kahoruko@tmu.ac.jp

<都市システム科学域には、他学域から併任している教員がいる。各併任教員については、それぞれの学域のアンニュアルレポートを参照してほしい。>

上野 淳 教授 (建築学域)

長嶋文雄 教授 (都市基盤環境工学域)

加藤 寛 教授 (環境調和材料化学域)

2) 研究概要

<都市空間システム>

【中林一樹】

都市復興と復興まちづくりに関する計画論的研究

中林一樹 (市古太郎助教・饗庭 伸准教授・吉川 仁特任教授と一部共同研究)

災害後、いかに速やかに被災から復興して安全で快適な都市に復興し、再生できるかは、災害直後の対応対策よりも長期間にわたり、巨額の費用を要する取り組みである。首都である東京を直撃する首都直下地震の切迫性が高まるなか、首都の都市復興は単に被災都市の復興に留まらず国の内外に大きな影響を与える重大な課題であり、事前復興対策手法(都市復興マニュアル、都市復興図上訓練・震災復興まちづくり訓練)の開発と改良は重要な研究課題であり、東京都や豊島区・葛飾区・八王子市などと連携して積極的に進めてきた。

都市防災と防災まちづくりに関する計画論的研究

中林一樹

切迫する首都直下の地震に対して、事前に地震災害に負けない都市及び防災まちづくりを実現しておくことが重要であるが、その進捗は遅々としている。防災まちづくり計画の策定に関する計画論的研究とともに、防災都市づくり・防災まちづくりの実現方策に関する手法的開発研究を推進した。

アジアの都市復興過程に関する比較研究

中林一樹（市古太郎と一部共同研究）

トルコ（マルマラ地震1999）、スマトラ・パダン地震（2009）などアジアにおける地震災害からの都市復興・住宅再建の実態調査とその復興制度に関する比較研究を進めた。

住民主体の街づくりの仕組みと条例運用に関する研究

中林一樹

平時にはもちろん災害時にも、地域コミュニティを単位とする「まちづくり」には住民の主体的な取り組みが不可欠となっている。大都市地域の基礎自治体におけるまちづくり条例の制定とその運用について、街づくり審査会（多摩市）での議論等を通して、住民主体のまちづくり推進方策を実践的に研究している。

都市計画マスタープランにおける都市事前復興のあり方に関する研究

中林一樹

葛飾区における都市計画マスタープランの改定にともない、事前復興都市づくり／まちづくりに関する位置づけについて、実践的研究を進めた。

【玉川英則】

コンパクトシティの形成と持続可能な都市の創出に関する研究

玉川英則

コンパクトな都市形成に向けての基礎的研究を継続している。本年度は特に、その概念と都市モデルの関連性、及びマイクロなレベルでのコンパクトな都市空間について考察し、論考を発表した。また、中国における輸送エネルギーと人口・産業配置に関して、因子分析と重回帰モデルによる分析を行い、博士後期課程院生との共著により学会講演論文を発表した。また、モデルを応用し、地区別に将来予測のシミュレーションを行った（現在、英文論文を投稿中である）。

都市空間モデルの基礎的特性に関する研究

玉川英則

グラヴィティ型のモデルにより施設あるいは都市の圏域が決定されるという設定には、いかなるインプリケーションが潜んでいるのかを考察している。2010年度においては2次元平面において、距離抵抗係の減少による大局的傾向と、施設の位置取りによっておこる重大な変化について、理論及びシミュレーションを完成させ、論文をまとめた（審査中）

【伊藤史子】

住環境に関する研究

伊藤史子

本研究は、都市の状態、住民や訪問者の評価、それらの関係を分析することにより、快適な住環境の構築への示唆を得るものである。今年度は、保健性の観点から住環境を評価するため二都市でアンケート調査を行い、住環境や住宅の状況が子育て世帯の健康感に与える影響を明らかにした（一般論文）。また、都市内の落書きの一種であるグラフィティの分布の調査をもとに発生状況を分析した（査読論文、口頭発表）。

都市情報・不動産情報の伝達に関する研究

伊藤史子

本研究では都市情報や不動産情報の適切な伝達内容と方法について研究を展開している。昨年度から引き続いて個人嗜好に合わせた訪問推奨エリア情報の地図化について分析を行っており、昨年度の芸術祭における実験結果をもとに、今年度は来訪者の個人嗜好の傾向と開催地域の小エリア別特性を明らかにした（査読論文、口頭発表）。

都市のプロジェクトの評価に関する研究

伊藤史子

本研究では、都市の様々なプロジェクトの評価を経済的な手法等を用いて行い、プロジェクト実施に際しての示唆を得ることを目指している。10年度は、1）道の駅を構成する施設に関する利用者コンジョイント分析（口頭発表予定）、2）森林・水減税のあり方に関する経済評価（論文掲載決定）の2つの研究を行った。

【市古太郎】

首都直下地震リスク軽減化のための地域計画策定技術の研究

市古太郎

首都直下地震の被害は建物全壊全焼戸数で見れば阪神淡路の約5倍(内閣府M7.3, 風速15m)と想定されている。死者や負傷者といった直接被害だけでなく、住宅や生活環境といった間接被害についても被害軽減化戦略を立て、事前の取り組みに反映していくことが不可欠である。そのため本研究は、都市計画の視点から、地区まちづくり計画技術を構築する。

平成22年度は前年度に引き続き、東京都都市整備局が主催する「都市復興図上訓練」に運営協力しつつ、未整備の都市計画道路の震災時対応、について、対応シナリオを整理した。

事前復興論に基づく震災復興まちづくり模擬訓練手法の開発

市古太郎, 中林一樹

首都直下地震による甚大な被害想定を前にして、「事前復興」という視点から間接被害を軽減化するため、住民、行政、専門家の訓練手法を開発する。

平成22年度は、八王子市子安四丁目地区で震災復興まちづくり模擬訓練の実施に従事し、地域で復興について話し合う「地域復興協議会」が立ち上がったという条件において、高齢者が住み続けられる震災復興まちづくりのシナリオと生活再建支援メニューについて検討を行った。

東京圏郊外におけるリスク認知社会学習プログラムと地域を単位とした対抗システムに関する研究

市古太郎

犯罪、屋外事故など、生活空間におけるリスク研究は課題解決型で取り組む必要がある。本研究では、自らの空間に潜在する危険性についての主体的なグループ学習を支援し、対抗する活動能力を向上させる方法論と支援制度システムに関する安全安心まちづくりに関する研究である。

平成21年度は、平成19年7月の中越沖地震において、地域での避難所運営で子育て世帯にどんなケアがなされたか、関連学会にて成果発表をおこなった。

<都市社会システム>

【星 旦二】

【羽貝正美】

ローカル・ガバナンスに関する研究

基礎自治体の機能とその存立条件とは何かという問題意識から、日仏・日欧比較都市行政・都市政策の視点を維持しつつ、地方自治の発展過程、住民自治、団体自治、政府間関係の現状と課題について研究を深めた。

フランスにおける都市行政・都市政策の発展過程に関する研究

小規模零細コミュニティ及びコミュニティ間協力組織に注目しつつ、都市政策の形成の枠組みならびにその課題について研究を深めた。

【竹宮健司】

救命救急センターの建築計画に関する研究

竹宮健司

近年の医療技術の進歩や疾病構造の変化に対応した救命救急センターの建築計画指針の設定が求められている。今年度は、以下の研究テーマにおいて具体的な成果があった。

- (1) 全国の救命救急センターの整備状況および空間構成の特徴
- (2) 地域特性に応じた救命救急センターの整備要件

高齢者・障がい者のための居住環境整備に関する研究

竹宮健司

高齢者や障がい者が住み慣れた地域や居住施設に住み続けられるためには、適切な支援サービスの提供とともに居住環境の整備も重要な要因となる。今年度は、以下の研究テーマにおいて具体的な成果があった。

- (1) 高齢者専用賃貸住宅整備の現況とその建築計画指針の設定
- (2) 精神障がい者の支援態勢からみた共同生活環境
- (3) 視覚障がい者の散策行動特性に関する実態分析
- (4) 重症心身障がい児者レスパイトケア施設の施設整備状況・利用実態分析

地域生活支援施設・環境に関する研究

竹宮健司

様々なライフステージにある地域住民の生活を支援する公共的サービス拠点の整備が求められている。今年度は、以下の研究テーマにおいて具体的な成果があった。

- (1) 病児保育施設の保育看護環境に関する実態分析
- (2) コミュニティセンターの利用特性から見た空間構成
- (3) 児童館における中高生対応の現状と施設整備要件

【饗庭 伸】

都市計画の地方分権に関する研究

饗庭 伸

都市計画の法制度改革について研究し、提案を雑誌特集として発表した。また、自治体議会改革の状況についての全国調査、議員による都市計画の立法事例の調査を行い、成果を図書として発表した。

都市建築ストック活用型都市計画に関する研究

饗庭 伸

これまでの都市計画は都市建築ストックのスクラップアンドビルドを前提としているが、ストックの長期間にわたる利活用を前提とした都市計画に変化させる必要がある。このような問題意識のもと、東京郊外の八王子市を対象にして、課税台帳データをもとに都市建築ストックの集積状況を分析し、その地域特性を考察し、成果を学術雑誌に発表した。

東アジア諸国のまちづくりの歴史に関する比較研究

饗庭 伸

台湾、韓国、日本の3カ国を対象に、戦後のまちづくり(台湾では「社区营造」、韓国では「マウルマンドゥルギ」)の比較研究を行った。韓国、台湾における事例調査を行ったほか、台湾(中華大学、台北市まちづくりセンター)、韓国(ソウル大学)において講演を行った。

まちづくりの手法に関する研究

饗庭 伸

市民とまちづくりの情報を共有する手法についての技術開発を行い、実証実験を行った。具体的には、地震リスク情報の共有(東京都葛飾区)、ヒートアイランドに関する調査と情報の共有(神奈川県川崎市)、商店街に関する情報の共有(東京都大田区)でそれぞれ実践的に手法の検証を行った。

【山本薫子】

都市インナーエリアの社会的変容、再編に関する研究

山本薫子

横浜・寿町地区をフィールドとして、都市インナーエリア地域の社会構造変容に関する研究を行った。特に①産業構造の変容、②グローバル化にともなう外国人労働者の流入と定着、③行政やNPOらが主導する「まちづくり」施策の実施について社会調査を実施し、それらが地域コミュニティの変容と再編にどのように影響し、その結果、住民の社会的状況がどのように変化しているか分析した。研究成果は学会報告および論文として発表した。

旧産炭地における社会構造変化に関する研究

山本薫子

閉山後の地域社会の変化について、産業構造の転換というマクロな事象を背景として、労働者とその家族、地域住民のライフヒストリー分析に焦点を当てながら明らかにする。本年度は、山口県宇部市、美祢市、北海道赤平市などでの調査を実施し、データ蒐集に努め、分析を実施した。また、他大学研究者とともにワークショップ、研究会を開催した。

3. 研究成果リスト

〈都市空間システム〉

【中林一樹】

1. 審査論文

小林英史・市古太郎・中林一樹「地域コミュニティを主体とした避難所運営の可能性に関する考察—2007年新潟県中越沖地震時の柏崎市比角地区を事例として—」、地域安全学会論文集、No. 13、pp. 255-264、2010.

長谷川庄司・中林一樹「開発途上国における災害緊急・復旧・復興対応体制の変遷に関する研究—インドネシア国のスマトラ沖大津波災害、ジャワ島中部地震災害と西スマトラ州パダン地震災害を事例とする考察—」地域安全学会論文集、No. 13、pp. 317-326、2010.

Eiko Ishikawa・Namiko Minai & Itsuki Nakabayashi・etc. “Reconstruction with victim relocation and environmental transition after a disaster : a case study of the Marmara Earthquake in Turkey” Co-authors; Eiko Ishikawa・Namiko Minai & Itsuki Nakabayashi・etc. International Conference of City Planning, CPIJ, Nara, 6pages, 2010.

市古太郎・木村美英子・中林一樹・他2名、「荒川下流左岸地域におけるハザードマップ認知と広域避難率の向上に関する研究」共著：市古太郎・木村美英子・中林一樹・他2名、日本都市計画学会 都市計画論文集45-3, pp. 559-504, 2010

佐藤慶一・牧紀男・中林一樹・翠川三郎「想定首都地震後の住宅再取得に関する社会シミュレーション」日本都市計画学会 都市計画論文集45-3 , pp. 571-576, pp. 571-576, 6頁、2010

2. 口頭発表

1. については、口頭発表を行っている。その他、以下である。

中林一樹 (2010. 10) 「どのように首都の復興を進めるのか」自治体危機管理学会2010年度研究大会、浦安。

3. その他

3-1. 専門書

『日本の自然災害 M8.0大地震襲来—日本は、家族・住居は一』共著、日本専門図書出版、
「1.3 首都直下地震」(pp. 70-103)、「4.1 巨大災害からの復旧・復興計画」(pp. 323-346)、
2010.

3-2. 研究報告

「平成22年度八王子市子安地区震災復興まちづくり訓練報告書」(受託研究代表)

「豊島区における都市復興マニュアル作成に関する研究委託(平成22年度)報告書」(受託研究代表)

『1948 福井地震』報告書、(中林一樹(小委員会委員長)編著)中央防災会議・災害教訓の継承に関する専門調査会、(全247頁)。

3-3. 解説・評論・一般論文

中林一樹「事前復興と防災まちづくり」、都市住宅学学会「都市住宅学」第72号、43-49。
2011.

中林一樹・小田切利栄「多摩市の都市づくりに関する市民意向調査」報告—その2; ニュータウン区域と高さ制限の意向の関連性を中心に—首都大学東京「都市科学研究」第3号、
pp. 53-64. 2010.

石川永子・葉袋奈美子・中林一樹・他2名「都市化段階の被災都市の復興における住宅再建と郊外住宅地開発の都市計画的効果と役割—トルコ/マルマラ地震の被災都市を事例として—」首都大学東京「都市科学研究」第3号、pp. 65-72. 2010.

中林一樹「日本における広域応援と広域協働による災害対応システムの現状—首都圏の巨大災害を事例に一」首都大学東京「都市科学研究」第3号、pp. 73-81. 2010.

中林一樹「地震被害想定 of 意義と課題」第13回日本地震工学シンポジウム (STS2-3)、6頁、2010.

中林一樹「これまでの災害復興の考え方と人口減少時代の巨大災害からの復興」自治体危機管理学会「自治体危機管理研究」第5号、pp. 33-43. 2010.

長谷川庄司・市古太郎・中林一樹「開発途上国で実施される災害復旧・復興事業と国際協力のあり方について—インドネシアとバングラディッシュを例として—」日本災害復興学会論文集「復興」No. 3、(4頁)、2010.

山崎栄一・林春男・中林一樹・立木茂雄「制約理論を用いた首都直下地震対策の低減手法」地域安全学会梗概集、pp. 1-4. 2010.

中林一樹「広域巨大災害と自治体の自助・共助・互助・公助—自治体の危機管理力の向上をめざして—」全国市長会、第72回全国都市問題会議論文集「都市の危機管理—協働・参画と総合対策—」、pp. 148-153. 2010.

中林一樹「広域・巨大災害を迎え撃つ「協働する復興」を目指して」日本災害復興学会「復興」Vol. 1 (特集 学会創設から丸二年と今後目指すもの)、pp. 6-7. 2010.

中林一樹「超巨大震災に備える国土づくり—「東京湾北部地震」の被害軽減に向けた基本課題の考察—」関東学院大学「経済系—松田磐余教授退職記念号—」第242集、pp. 24-40. 2010.

中林一樹「地震に強い都市づくり—首都直下地震の被害想定と新しい震災対策課題—」専修大学自然科学研究所「自然科学研究所所報」通巻90号、pp. 1-16. 2010.

【玉川英則】

2. 口頭発表

Hidenori Tamagawa, Wang Lei and Jun Sang Joon

“Two Aspects of Transportation Sustainability” ,

Session3 Sustainability and Transportation in Seoul-Tokyo Joint Seminar 2010 ,
pp. 65-80

3. その他

3-2. 研究報告

玉川英則, 「コンパクトシティの概念と都市モデル」, 『不動産学会誌』, No. 92 (Vol. 24-1),
pp. 18-22, 2010. 7

王雷・玉川英則, 「中国における鉄道貨物輸送量に影響を与える要因に関する研究」, 『地理
情報システム学会講演論文集』 (CD-R), 2E-4, 2010. 10

3-3. 解説・評論

玉川英則, 「『座ることを拒否する椅子』とコンパクトな都市空間」, 玉川英則, 『建築の研
究』, No. 201, pp. 1-4, 2010. 10

【伊藤史子】

1. 審査論文 : 学術雑誌等に掲載の審査付き論文

布川悠介・伊藤史子

市街地におけるグラフィティ分布の空間分析- 高円寺駅周辺を対象として-
『日本都市計画学会学術研究論文集』, Vol. 45, 589-594, 2010年.

鈴木綾子・伊藤史子

個人嗜好を考慮した訪問エリア選択支援システムの基礎的研究-越後妻有大地の芸術祭を
題材として-

『日本建築学会計画系論文集』, Vol. 75, No651, 1169-1174, 2010年.

2. 口頭発表 : 学会, 研究会等での口頭発表

Ito, F. and Suzuki, A.

Supporting system for the choice of visiting area reflecting personal preference:
Experiment in the Art festival in Echigo-Tsumari
ISSUE2010, Tokyo Metropolitan Univ.

Ito, F. and Nunokawa, Y.
Distribution of Graffiti in the city area: Case study in Koen-ji, Tokyo
ISSUE2010, Tokyo Metropolitan Univ.

布川悠介・伊藤史子
市街地におけるグラフィティの分布と特性
CSISDays, 東京大学空間情報研究所, 2010年.

岩田満里子・伊藤史子
コミュニケーションを誘発する広場空間についての研究-巣鴨地藏通り商店街を対象とし
て-
『日本建築学会大会学術講演梗概集』, F分冊選抜梗概, 1499-1502, 2010年.

布川悠介・伊藤史子
市街地におけるグラフィティ分布の空間分析-高円寺駅周辺を対象として
『日本建築学会大会学術講演梗概集』, F分冊, 1029-1030, 2010年.

3. その他

3-1. 専門書 : 専門書, 学術書, 訳書

3-2. 研究報告 : 研究報告書, 報告記事, 等

伊藤史子研究室

『健康コミュニティに関する子育て期世帯調査 報告書』

首都大学東京産学公受託研究 (社・日本サステナブル・ビルディング・コンソーシアム)
報告書, 2010年

3-3. 解説・評論、一般論文

小杉理理子, 伊藤史子

住環境・コミュニティ、住まいと子育て世帯の健やかな生活との関係性の考察

『まちづくり研究はちおうじ』, 八王子市都市政策研究所, 98-107, 2011年.

布川悠介・伊藤史子

市街地におけるグラフィティライターの行動特性に関する研究-高円寺駅周辺を対象として-

『地理情報システム学会講演論文集』, 19巻, 4F-1, 2010.

鈴木綾子・伊藤史子

個人嗜好を考慮した訪問エリア選択支援システム実証実験

『地理情報システム学会講演論文集』, 19巻, 3G-5, 2010.

伊藤史子

論説特集「コンパクトシティ」特集にあたって（論説特集企画担当）

『日本不動産学会誌』, 24巻1号, 113, 2010年.

伊藤史子

市町村合併でコンパクトな都市は成立し得るか-新潟市における検証

『日本不動産学会誌』, 24巻1号, 51-58, 2010年.

【市古太郎】

1. 審査論文

市古太郎, 長谷川庄司, 中林一樹(2010)「2009年スマトラ島西部地震における住宅再建支援スキームと発災半年時点における再建始動状況」, 建築学会住宅系研究報告会論文集No.5, pp.189-194

市古太郎, 木村美瑛子, 加藤孝明, 石川金治, 中林一樹(2010)「荒川下流左岸地域におけるハザードマップ認知と広域避難率の向上に関する研究」, 日本都市計画学会学術研究論文集45, pp.289-294

小林英史, 市古太郎, 中林一樹(2010)地域コミュニティを主体とした避難所運営の可能性に関する考察-2007年新潟県中越沖地震時の柏崎市比角地区を事例として-, 地域安全学会論文集No.12, pp.255-264

2. 口頭発表

市古太郎, 長谷川庄司, 中林一樹 (2010)「インドネシア・パダン沖地震における住宅再建支援スキームと被災半年時点の現地調査報告」, 日本建築学会大会梗概集, 2010/9/9

市古太郎, 長谷川庄司, 中林一樹 (2010)「スマトラ島西部地震 被災半年後の復興状況と復興計画」, 日本建築学会2009年ジャワ島西部地震/スマトラ島西部地震被害調査・復興調査報告会」, 2010/4/19

長谷川庄司, 市古太郎, 中林一樹 (2010)開発途上国で実施される災害復旧・復興事業と国際協力のあり方について, 日本災害復興学会大会

木村美瑛子, 市古太郎, 中林一樹 (2010)荒川下流域居住者の洪水ハザードマップの認識状況と水害対策との関係に関する考察－葛飾区堀切地区と新小岩地区を対象として－, 第41回土木計画学研究発表会(春大会)

3. その他

3-1. 専門書

特になし

3-2. 研究報告

市古太郎 (2010)「『いま, ここ』で始める事前復興対策－ビル環境管理への適用を考える－」, 財団法人ビル管理教育センター, ビルと環境, 130号, pp.15-18

3-3 解説・評論

特になし

<都市社会システム>

【星 且二】

【羽貝正美】

2. 口頭発表

羽貝正美, 2010.7、「地域の自治と景観の担い手：近代から現代へ－持続する課題」、第14回風景デザインサロン (熊本)

羽貝正美、2010.8、「新潟県全市町村における地域自治の現状に関するアンケート調査について」、共同研究・都市内分権研究会（長岡市）

羽貝正美、2010.8、「まちづくりと住民参加」、(財) 全国建設研修センター（東京）

羽貝正美、2010.12、「安寧のまちづくりー自治と参加の視点から」、京都大学・安寧の都市セミナーA

羽貝正美、2010.12、「フランスにおけるコミューン間協力組織と地域圏」、共同研究・都市と住宅・第3回研究会（学習院大学）

3. その他

3-1. 著書

Masami HAGAI, 2010.12, *Antiurbain – Origines et conséquences de l’urbaphobie*, Editeurs: Bernard MARCHAND, Joelle SALOMON-CAVIN, Presses Polytechniques et Universitaires Romandes (Lausanne, Suisse)（共著）

3-2. 研究報告

羽貝正美、2010.9「地域景観と地域社会の相関構造及び景観の内的システムの生成・発現に関する実証的研究」（藤倉英世、山田圭二郎との共著）、土木学会論文集D.Vol.66, No.3.

羽貝正美、2010.7「地域自治の試行錯誤から住民自治の充実へ」、『新潟自治』Vol.44.

羽貝正美、2010.12「合併後の地域自治は進んだかー県内30市町村アンケート調査」、『新潟自治』、Vol.45.

3-3. 翻訳

羽貝正美、2010.11、『パリの肖像19ー20世紀』（原著者：B. マルシャン）、日本経済評論社。

【竹宮健司】

1. 審査付論文

緩和ケアチームの活動実態からみた施設整備計画に関する研究、がん診療連携拠点病院を対象として

田龍一・竹宮健司

日本医療・病院管理学会誌, Vol. 48 No. 1, p. 17-28, 2011年1月

2. 口頭発表

松山有希子・竹宮健司

東京都「子育てひろば」の施設整備・運営特性に関する分析 子育て支援施設における育児・交流環境に関する研究 その1

日本建築学会大会学術講演梗概集E-1分冊, p. 189-190, 2010年

安井基浩・松山有希子・竹宮健司

東京都「子育てひろば」の内部構成に関する分析 子育て支援施設における育児・交流環境に関する研究 その2

日本建築学会大会学術講演梗概集E-1分冊, p. 191-192, 2010年

小林健一・竹宮健司・島津江玲奈

救急医療における初療室の空間要件 救命救急センターの治療環境に関する研究 その1

日本建築学会大会学術講演梗概集E-1分冊, p. 215-216, 2010年

島津江玲奈・竹宮健司・小林健一

救急医療従事者からみた治療関連諸室の利用実態と評価 救命救急センターの治療環境に関する研究 その2

日本建築学会大会学術講演梗概集E-1分冊, p. 217-218, 2010年

竹宮健司・小林健一・島津江玲奈

救急搬送患者の疾患構造と施設利用に関する考察 救命救急センターの治療環境に関する研究 その3

日本建築学会大会学術講演梗概集E-1分冊, p. 219-220, 2010年

阿部光・竹宮健司

精神科医療施設Kにおける三年間の受療行動分析 精神疾患患者の社会復帰支援システム・環境に関する研究 その3

日本建築学会大会学術講演梗概集E-1分冊, p. 225-226, 2010年

田龍一・竹宮健司

緩和ケアチームの活動実態からみた活動拠点の計画要件 がん医療の発展に対応した医療施設計画に関する研究 その3

日本建築学会大会学術講演梗概集E-1分冊, p. 247-248, 2010年

柏原藍美・坏浩輝・竹宮健司

特定施設入居者生活介護を実施する高齢者向け優良賃貸住宅の実態分析 介護応需型高齢者専用賃貸住宅の建築計画に関する研究 その1

日本建築学会大会学術講演梗概集E-2分冊, p. 249-250, 2010年

坏浩輝・柏原藍美・竹宮健司

訪問介護事業所を内包する高齢者専用賃貸住宅の実態分析 介護応需型高齢者専用賃貸住宅の建築計画に関する研究 その2

日本建築学会大会学術講演梗概集E-2分冊, p. 251-252, 2010年

吉本亜美・竹宮健司

精神障害者グループホーム・ケアホームの居住形態に関する研究

日本建築学会大会学術講演梗概集F-1分冊, p. 1447-1448, 2010年

4. 書籍

ホスピス・緩和ケアのための環境デザイン

共著, 鹿島出版会, 2010年6月

5. 講演

講演「救急部門の計画と運営」

医療福祉建築フォーラム, 社団法人日本医療福祉建築協会, 2010年09月17日

【饗庭 伸】

【山本薫子】

3 - 1. 専門書

近藤敦ほか編著『非正規滞在者と在留特別許可』日本評論社 (共著)

3 - 3. 解説・評論・一般論文

山本薫子

「第1回地域社会学会例会印象記」

地域社会学会「地域社会学会会報」No.162: 11-12.

山本薫子

書評『自立の呪縛』（渡辺芳著、新泉社）

「ホームレスと社会」第3号（明石書店）

山本薫子

「外国人居住 日本で暮らす外国人の居住問題と支援の取り組み」

日本建築学会「建築雑誌」2010年8月号

山本薫子

「横浜・寿町の歴史と現在」

寿オルタナティブネットワーク「KOTOBUKI クリエイティブアクション

2008-2010」:24-27

4. 特定学術研究

研究者	件数	種別・題目・金額・企業名等
寄付金による研究		
		なし
受託研究費による研究		
中林一樹（代表） 吉川 仁（分担） 市古太郎（分担）	2	「八王子上恩方地区地域協働復興模擬訓練企画及び実施業務委託」（八王子市）100万円 「豊島区における都市復興マニュアル策定」における調査支援等委託」（豊島区）550万円
提案公募型研究費による研究		
中林一樹（分担） 市古太郎（分担） 饗庭 伸〔分担〕 小田切利栄（分担）	1	「地域・生活再建過程の最適化に関する研究（分担代表）：「市民・企業・行政が協働する震災復興に関する研究」：『首都直下地震防災・減災プロジェクト 広域的危機管理・減災体制の構築に関する研究（研究代表者：林 春男 京都大学教授）』4,545千円
産学共同研究費による研究		
吉川 徹（代表） 玉川英則（副代表）	1	「地域情報共有プラットフォームの構築」, 37.5万円（総額） 地域情報共有プラットフォーム構築研究会,

文部科学省科学研究費		
竹宮健司		〔分担：基盤研究C〕 地域特性および設置形態に対応した救命救急センターの建築計画指針の設定
中林一樹（分担）	1	〔分担：基盤研究(S)〕 巨大複合災害とその減災戦略（研究代表者：河田恵昭 関大教授） 1,200千円
市古太郎	1	〔若手 B〕東京圏郊外における震災と子どもの事故に対する脆弱性分析と社会学習プログラムの開発、120 万円
竹宮健司	1	〔基盤研究 C〕 精神疾患患者の継続的な受療行動分析に基づく包括的社会復帰支援システム・環境の構築 91 万円
その他		
		なし

5. 学位論文リスト（平成 21 年度）

【博士論文：都市システム科学域】（*は、東京都立大学都市科学研究科都市科学専攻である）

学位取得者	論文題目
中山直子	・都市における青少年の“Well-Being”とその関連要因の構造分析 -小・中・高校生および大学生を対象として-
藤岡茂	持続可能な循環型社会の形成を目的とする環境関連税制の現状とその効果に関する研究

【修士論文：都市システム科学域】

学位取得者	論文題目
野澤 亮太	展示文化財の地震時転倒安全性評価支援システムに関する研究
高城 智圭	子育て期における母親の自己認識の構造分析 -生活満足感、Sense of Coherence との相互関連性-
杉本 識	合併による自治体の広域化と災害対策の変化に関する研究

田中 悠輔	豊中市庄内地域における住民参加まちづくりの継承に関する研究
秋山 友希	香川県直島における新規居住者の移住プロセスと社会的ネットワーク
小杉理理子	子育て期世帯の健やかな生活のための住環境と住まいに関する考察 - 東京都八王子市を対象として-
鈴木 綾子	個人嗜好を考慮した訪問エリア選択支援システムの提案 -越後妻有大地の芸術祭における運用と検証-
申 榮燮	地域における障害者支援施設のネットワークに関する研究 - 多摩市におけるケーススタディー-
佐藤 峻之	つくばエクスプレス開通が市民の空間移動に与える影響に関する研究
網本 就介	児童館における中高生対応の現状と施設整備に関する研究
今泉麻由子	病児保育施設の保育看護環境に関する実態分析
安井 基浩	コミュニティセンターの利用特性から見た空間構成に関する考察 ~武蔵野市におけるケーススタディー~
坪 浩輝	高齢者専用賃貸住宅の介護応需化に向けた基礎的研究
井上 高臣	都市成長期における郊外都市の増分市街地の内部変容
庄司 久弥	斜面住宅地の景観規定要因と景観シミュレーション -住宅建設年代・地形と住宅部材の関係に着目して-
住田 旭宏	持続的な地域社会における市民参加型ヒートアイランド調査手法
久野 亨	在日外国人の居住におけるシェア型賃貸住宅の役割